

# 副市長レビュー（春）調書

1 部局名 (課名)	都市整備部花みどり担当 (緑政課)
2 協議事項 (案件名)	はままつフラワーパーク開園 50 周年に向けた取り組みについて
3 背景・現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 行財政改革審議会の提言等に基づき、以下の改革を行ってきた。             <ul style="list-style-type: none"> <li>① 浜松市フラワー・フルーツパーク公社の資産を市に移管 (H24)</li> <li>② 経営改革のノウハウを持った理事長を公募で選任 (H24)</li> <li>③ 公社の公益財団法人への移行と指定管理者制度の導入 (H25)</li> </ul> </li> <li>・ 指定管理者制度導入後、変動料金制など経営改善に着手。浜名湖花博 2014 では 77 万人が来場し、その後も入園者数が堅調に増加している。             <ul style="list-style-type: none"> <li>① 変動料金制を導入し、収益構造の改善による自主財源確保に貢献</li> <li>② 経常経費の削減等により、財政基盤を強化</li> <li>③ 「世界一美しい桜とチューリップの庭園」と銘打ち、効果的に情報発信</li> </ul> </li> <li>・ 浜名湖花博 2014 の際の施設整備や、財団独自の園内整備を進めてきたが、開園以来の施設・設備の老朽化や、UD 対策への対応が求められている。</li> </ul>
4 検討経過・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ フラワーパークは浜名湖観光圏整備計画で「主たる滞在促進地区」に位置しており、域内の中核施設として、今後さらに園の魅力向上に取り組む、集客力を高めていく必要がある。</li> <li>・ 平成 32 年の開園 50 周年に向けた施設の魅力向上と、老朽施設・設備の計画的改修に大別して工法や優先順位を検討し、年次計画の策定を進めている。             <ul style="list-style-type: none"> <li>&lt;検討項目&gt;</li> </ul> </li> <li>・ 増加する入園者の満足度を高める、噴水、大温室やレストラン等の改修</li> <li>・ 高齢者、障がい者を含めた全ての入園者が安全で快適に利用できる UD 対策</li> <li>・ 電気、水道等老朽インフラの更新に向けた計画的な改修</li> <li>・ 舘山寺スマートインター開設 (H31.3 月予定) に伴う交通アクセスの影響予測</li> <li>・ 併せて、財団の自主事業を中心に、「圧倒的な美しさ」の創出、インバウンド対策等に取り組んでいく。</li> </ul>

5-1 方向性の提案	<p>50周年に向けたハード対策として、以下のとおり整備計画を進めたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・50周年事業として、園の魅力を高め、集客増に寄与する、昇降設備・噴水設備・大温室の整備に重点的に取り組む。</li> <li>・中長期的整備として、老朽インフラ（電気、水道等）の長寿命化計画を策定し、計画的な改修に取り組む。</li> </ul>	
5-2 論点 方向性の決定に向け議論する事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・整備事業の優先順位の考え方及び年次計画の妥当性</li> </ul>	
6 結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>■提案どおり進める</li> <li>□サマーレビューで審議</li> <li>□提案内容を一部見直して進める</li> <li>□再度、調査研究等を行い検討</li> <li>□その他</li> </ul>	<p>具体的内容</p>
7 その他		